

丹波篠山市立西紀中学校 学習や生活に関する学力向上プラン【第1学年】

【調査結果の概要】

全体的な状況

- ・市の学力調査では、国語・数学ともに全国平均値と同程度でした。
- ・生活状況調査では、「学級の絆」、「学級の規範意識」、「いじめのサイン」の3カテゴリーにおいてポイントが高く、ポイントの低かった3カテゴリーは「成功体験と自信」、「家族の支え」、「思いやり」でした。
- ・学校行事やクラス活動を通して成功体験や達成感を重ねられるよう、一人一人の個性や長所に応じた活躍の場を設定し、自分への自信に繋がる指導・支援を教職員全員で行っていきます。また、周りの友達の気持ちを思いやった行動や言葉がけをより一層意識できるための機会や指導体制を作っていきます。

課題と対応

国語 書く力を育むことで伸ばす読解力の育成

- ・市の学力調査において、教科全体の正答率が全国平均値と同程度でした。観点別にみると「知識・技能」は全国平均値と同程度で、「思考・判断・表現」の定着に課題があることが明らかになりました。特に、「書くこと」の領域、記述に課題が見られ、討論や意見文などで生徒が挙げる根拠には、単に自分の考えを言い換えたものなども見られます。まず、適切な根拠とはどのようなものであるのかについて指導したいと考えています。今後の取り組みとして、普段の授業や生活の中で自分の考えを書く場面を意図的に設け、作文の練習を繰り返し行いたいと考えています。国語の授業では、文章の構成や趣旨を理解する時間を十分に確保し、学んだ内容を自分の作文に活用できる生徒を育成していきたいと考えております。

数学 説明する力の育成

- ・正答率が全国平均値を上回り、特に、基礎問題に良好な成果が得られました。一方で、活用問題は同程度で、特に、図や円グラフなどの資料から必要な情報を取り出して立式・記述する問題に課題が残ります。今後は「読み取ったデータをもとに筋道立てて解き、説明する力」の育成に重点を置きます。図の目盛りやグラフの項目と問題文を正確に紐付ける指導を徹底するとともに、「何を元にして比んでいるのか」や「条件が変わるとどう答えが変わるのか」を自分の言葉で順序立てて書く練習を増やし、データを活用して解法を導く実践的な思考力を養っていききたいと考えています。

学習・生活習慣 家庭での時間の有効的な活用

- ・生活状況調査の結果から、やや就寝時間が遅く、インターネットやゲームに時間を多く使う生徒が見られることがわかりました。家庭学習の時間を大切にし、自分で学習計画をたてるなど、自己調整する力の育成に努めていきます。

【保護者・校区の方へのお願い】

市学力調査の結果から、国語は全国平均と同程度、数学は全国平均を上回っていることが分かりました。しかし、応用的な学力や考え方に課題が見受けられます。基礎的な知識・技能を使って、自分の思いや考え方を表現できることを目標に、家庭での学習に対してお子さまへのアドバイスをお願いします。また、「書くこと」の領域に課題が見られましたので、教科以外でも、自分の考えを文章にまとめ、説明するなどの作文指導に努めたいと思います。

生徒同士の絆をさらに深めていき、更なる成長を期待して教育活動に励んでいきたいと思ひます。今後とも、西紀中学校の教育活動にご理解ご協力をお願いいたします。

